



街道ノスタルジー

ドライブイン を訪ねて

群馬県
茂木ドライブイン

創業時と変わらない店内。テーブルは一枚板を使用しています。

ベコベコのお腹を満たす温かい料理と気取らない雰囲気、何よりも魅力的な店主が迎えてくれるドライブインは、ドライバーのオアシスといえます。今回から昭和の面影を残すドライブインを紹介します。

初回は群馬県下仁田町の茂木ドライブイン。群馬県はこんにゃく芋の生産量が日本で、この店では竹串に刺したこんにゃくを大鍋で温めて、甘辛いみそダレを付けて食べる「みそおでん食べ放題」を行っています。

「2種類のこんにゃく粉を使った手作りこんにゃくで、刺し身でも食べられるように少し柔らかめに仕上げます。みそおでんは1串約200gで、ひとりで10本も食べた方がいましたよ」と店主の茂木しづ江さん。開業は1984年。群馬から長野へ抜ける国道254号沿いに店はあるため、トラックドライバーの常連さんも多いそうです。

「わざわざ、お土産を持って来てくれるお客さんもいて、店を続ける励みになりますよ。帰り際に私もお土産を持たせたりね」とニコリと笑う茂木さん。ほっこりとした人柄にこれからも多くのドライバーが癒やされることでしょう。



もつ煮定食(600円)。もつ煮は独自の方法で豚もつの匂いを取り、柔らかく仕上げています。具材は豚もつのみで、自家製麦麺みそしょう油で味付け。

茂木ドライブイン

群馬県甘楽郡下仁田町南野牧6901

10時～16時30分 木曜休



みそおでん食べ放題はセルフサービスで、なんと！ひとり200円。大鍋からこんにゃくを選び、みそダレの中にドボンと浸します。



店主の茂木しづ江さん